事業実績書

事業名		空き家を活用したシェアスペースで移住と定住の促進&学生の社会進出支援!
場所		沼津市庄栄町 10-31
期間		2024年7月1日 ~ 2025年3月27日
	日程	実施項目・作業項目
事業内容		※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など) 2024 年 7 月~8 月: ・スペース利用の利用見込み者やシェアキッチン利用者へのヒアリングや打合せやスペース運営時の方針や備品等の決定 2024 年 9 月 ・改装エリアの設計・保健所への設計書等の確認 2024 年 10 月~12 月 ・改装工事・ Instagram の投稿開始(建物の Before After を中心に投稿) 2025 年 1 月: ・備品 (調理台、電子オーブン、椅子等)の購入と設置・保健所へ飲食業と菓子製造業の許可証の申請と交付・利用申込書などの書類の作成・シェアスペースの利用者の募集と利用の開始・予約サイトを自社で作成 2025 年 2 月 ・シェアスペースの利用者の要望をくみとった備品の改善(ブラックボード、オーブンの天などの対応)・関係団体との打合せ(市役所の商工振興課、移住定住推進室、100 人会議) 2025 年 3 月 ・移住ママの交流会の実施 1 回目は 3 月 13 日実施。自社 Instagram のみで集客 4 名の参加 2 回目は 3 月 27 日に実施。自社 Instagram で集客 3 名参加・関係団体との打合せ(キナリ舎)・シェアスペースの利用者の要望をくみとった備品の改善(冷蔵庫の追加、駐車スペースの追加等)
事業効果		 成果指標 2024年3月シェアスペースの利用実績:12回(交流会含む) 2024年3月の売上実績:42,000円 ■その他進捗状況 3月27日時点で15名の利用申込みがあり、利用金額も使いやすいとのことで好評を頂いている。 改装段階から利用見込者を巻き込んだことと、改装のBefore After の投稿等から Instagram を始めたことにより1月末にフォロワーが1,000人超え、3月27日現在で1,177人のフォロワーがいる



【シェアスペース利用者(場所を借りた方)の声】

- シェアキッチンが沼津に少ないのでうれしい。
- ・菓子製造業対応のシェアキッチンがなく、最寄りが菓子製造業対応のシェアキッチンが富士市だったので、とても便利。
- ガスオーブンがあって菓子製造にはうれしい。
- 料金がリーズナブルで使いやすい。
- 備品などは要望を聞いて追加してくれるのがありがたい。
- ・駐車場がほしい。(←3月より小型車の駐車場手配済み)
- ・エンカウンターの Instagram で宣伝を手伝ってくれるのが助かる。
- 予約から問い合わせまで全てオンラインで完結しているので便利。
- ・スマートキーなので、利用時ひとりで完結できて良い。

【シェアスペースのお客様(最終消費者)の声】

- 近くに飲食店が少ないので、いろんなお店ができてうれしい。
- 利用したいので、月間スケジュール等の掲載をしてほしい。
- どんなお店が来るのかを知りたいのでチラシを配ってほしい。
- ・空き家老朽化を懸念していたので、有効活用されて安心。

【交流会 1回目】



●参加者 4 名

内訳:

- 2024年 東京から移住 7歳
- 2023年 三島から移住 5歳、2歳
- · 2022 年 11 月 東京から移住 O歳
- 2022 年 4 月 横浜から移住 2 歳、0 歳
- ●どこで知ったか:

えんカウンターの Instagram (4名/4名)

- ●参加した感想:
- 普段同じ境遇の人と話すことが少ないので楽しかった。
- 子育ての相談ができてよかった。
- ・沼津で初めてママ友ができた。
- また参加したい。(複数)
- おむつ替え台があり便利だった。
- ・安心して赤ちゃん連れで参加できるのがうれしい。
- 子どもを連れて行けるご飯屋さんを教えてもらえてよかった。
- 赤ちゃんが泣いてもあたたかい目で見てもらえてありがたかった。
- 車がないので電車と徒歩で来たが、帰りに初対面にも関わらず家が近い方に車で 送っていただけて助かった。
- ●どんなイベントがあるとうれしいか:
- 子どもの古着のお譲り会
- 子どもの撮影会(参加者の中にフォトグラファーの方がいらっしゃった)
- ●交流会の様子
- 自己紹介
- ・トークテーマ

沼津に来てびっくりしたこと

沼津に来て困っていること

子どもの遊び場

出産の時の話



●参加者の SNS の声

移住ママ会すごく楽しかった...!

車なくて足がないから運転がハードル高いことや、風が強 いこととか当たり前じゃないよねあるあるすぎて納得した



みんな共通点がどこかしらあったし、また参加したいな













【交流会 2回目】



●参加者3名

内訳:

2024年1月 名古屋から移住 2歳、妊娠中 2024年10月 仙台から移住 4歳、1歳 2023年8月 東京から移住 10歳、5歳

●どこで知ったか:

Proud Numazu (2名/3名), えんカウンターの Instagram (1名/3名)

- ●参加した感想:
- ・沼津に来てから初めて(家族以外と)こんなに喋った。
- ・子どもが走り回るようになると支援センターや公園では子どもを追いかけてお世話ばかりになってしまうので他のママと話すことがなくママ友ができなかったのでこの場で初めてママ友ができて嬉しかった。
- 育児をしていると孤独を感じることがあったが、このような場で同じ境遇のママ と話すことで孤独が和らいだ。
- ・第一子の初めての育児で不安だったが、先輩ママたちに「大丈夫」と言ってもら えてほっとした。

- ・他の保育園の情報が全くわからなかったので、参加者の方が通われている保育園 のことを知れてよかった。(お弁当の頻度、入園準備グッズの種類、先生方の評 判など)
- 子どもの機嫌が悪くなっても優しく見守ってもらえてありがたかった。
- ママだけだったから安心して授乳ができて助かった。
- ●どんなイベントがあるとうれしいか:
- ・趣味でつながれるイベント、サークル(手芸が趣味だが、同じ趣味のママとつながることができない)
- ・育休中で次のキャリアに悩んでいるので、同じような境遇の方と情報共有できる ようなキャリア相談会
- ・えんカウンターのような場所で、ママさん向けに子育て教室、心理学の勉強会な どをやりたい
- 一緒に支援センターで遊ぶ会
- ●交流会の様子:
- 自己紹介
- ・トークテーマ

沼津に来てびっくりしたこと

沼津に来て困っていること

子育ての話





※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。

【良かった点】

- ・工事、DIY リノベーションの様子などを Instagram で共有したことで、オープン時にフォロワーが 1,000 人以上いるなど想定より SNS の定量的な反応があった。 来店してくださったお客様に、「DIY の様子から見ていました」「投稿読んで共感しました」など声をかけていただき、定性的にもしっかりリーチできている実感がある。
- ・工事前に利用見込者に相談し菓子製造業の設備面の強化をしたところ想定より多い利用者の申込みがあった。
- ・マチカツの補助のおかげで低価格で提供できているので利用者からも「始めやすい」「試しやすい」と喜んで頂けており、一番大事にしていた新しいことに挑戦する「はじめの一歩」のサポートができているという実感がある。
- 予約から問い合わせまでオンラインで完結できるようになっており、利用者様より好評を得ている。
- ・ママ向けのイベントを2回行ったが、「また参加したい」や「こういうイベントが欲しかった」とのご意見が多く、やりがいを感じられた。
- ・子どもが保育園に入れず、自分の仕事が思うようにできなかった方が、週に 1日だけえんカウンターで出店をして、自分のやりたいことを仕事としてできて嬉しかった、というお声をいただけた。
- ・沼津に移住する前は定期的に間借り出店していたが、沼津に来てから場所が見つからずしばらくできていなかったが、えんカウンターができたことで定期的に出店することができる、と利用者の方に喜んでいただけた。
- ・沼津のトークイベントの依頼があり、活動内容を注目、評価していただけた。
- ・沼津で人脈のある方とつながることができ、えんカウンターをご紹介していただける関係性を築けた。
- •「ずっと会社員だったが副業で子どもの頃からの夢であるお菓子屋さんを始めて みたい」、という方に利用していただいて、会社に頼らず自分でビジネスをつくる、 多様な働き方をするお手伝いができた。

【改善点】

・利用申込みは想定より多かったが、実際のシェアスペースの予約、利用は利用申 込に対しては少なく想定が甘かった。

(マルシェなどのイベント出店用の製造でキッチンを利用したいというニーズが多く、暖かくなってからイベントが増えるために2月、3月は実際の利用に至っていないパターンが多かった。)

・オープン記念で利用料 50%0FF のキャンペーンを行ったが、利用者の方は想定よりも価格志向型ではなかった。

(「マルシェなど出店予定があれば定価でも入る。」「利用はマルシェの予定次第」 というお声が多かった)

・キッチンを、マルシェなどで販売するための(菓子)製造場所として使われる方は多かったが、えんカウンターでの販売目的で利用される方がまだ少なく、えんカウンターでのお買い物体験をまだ十分に供給できていない。

自己評価

そのためエンドューザーの方への認知がまだ弱い。
・Instagram のフォロワーや利用者は30代、40代の女性が多いので、男性へのアプローチを強化していく必要がある。

※ 補助金を利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。
・シェアスペースの提供
移住希望者や移住者が特技を活かして地域コミュニティーにとけこみ、新しいことにチャレンジできるきっかけの場を提供する。
・交流会などのイベントの実施
6月に交流会を実施予定(起業の会で検討中)。また交流会でニーズのあったイベントなどを検討中。

事業実績書

改装前の様子

























改装中の様子



















改装後の様子

























